

## 「私の思いを閉じ込める」 ～ My Frame ～

(平面表現による自己表現「私の自我像」とそれを飾る額の制作)



日 時 平成25年10月22日 (火)

場 所 千葉市立花園中学校 第1美術室

指導者 江藤 知香

# 美術科学習指導案

日 時 平成25年10月22日(火)

場 所 千葉市立花園中学校 第1美術室

クラス 2年9組

指導者 江藤 知香

## 1 題材名 「私の思いを閉じ込める」 ～ My Frame ～ (平面表現による自己表現「私の自我像」とそれを飾る額の制作)

## 2 題材について

### (1) 題材観

我々美術教師は生徒に作品を制作させることだけで無く、作品が鑑賞され、評価され、その評価が生徒個々に更なる影響を与えていくという作品の完成後まで踏まえて授業を組み立てていかなければならないと考える。

美術の授業において作られた作品は家に持ち帰った後、どのような扱いを受けているのか?そもそも、美術の授業で制作された平面作品は色ラシャ紙や白ボール紙で裏打ちを行うなどの簡易的な額を付けて掲示されていることが多い。生徒作品全てに額装が施されていることは稀である。私は美術教師を志していたころに、「額装のされていない絵画は、人に例えると洋服を着ていない状態であり、とても恥ずかしいことなのだ。」と指導を受けたことがある。授業での作品も時間をかけ、生徒が思いを込めて作ったものなのだから、是非に家の一郭に額装し飾って欲しいと願ってやまない。

本来額には、4つの要素があると考えられている。第1は、鑑賞に際して、壁や壁紙と作品を分かつための境界としての役割である。第2には画面を引き立たせ、作品をよりよくみせるための装飾の役割である。アイコンの周囲の豪華絢爛な金縁や屏風のシンプルな黒漆の框などである。第3に作品の長期保存の役割である。多くの額にガラスやアクリル板が使われ直接外気に触れないようになっているのは、作品の保護を考えてのことである。第4に額自身に作品との関係性と芸術性を持たせる手法と、反対に敢えて額装をしないことで意味を持たせる手法である。前者は、作品と額との互いの相互関係を作り「完璧な結婚」と呼ばれる。後者は20世紀以降多くの現代作家がその手法を用いている。

本題材は「私の思いを閉じ込める」～My Frame～という題にした。「Frame」の動詞の意味である(形作る)(伝える)から自分を形作る物事を、各自テーマを決めて表現していき、その作品を飾る額「Frame」を制作していく。自分を見つめるワークシートを活用し、自分自身の「自我像」のヒントを考える。制作を通して自分を形作る物事を具体的なイメージにする。そしてテーマが決定したら、それをどのように表したらよいか、形や色、表現技法、素材等の選択や組み合わせの構想を練り、「私の自我像」としてとして表現する。

更に額「私の思いを閉じ込める」～My Frame～の制作では、「私の自我像」と額との相互関係を持たせ、飾るという用途を踏まえながらも造形的な美しさを作品と額が関連し合い、総合的に表す構成力・発想力を身に付けさせたい。そのために制作の手順を考えながら見通しを持って計画的・意図的に制作する力も培っていきたいと考える。

## 2 題材の目標

- ① 平面表現による自己表現とそれを飾る額との相互関係を持たせるための表現活動に、主体的に取り組むことができる。  
【美術への関心・意欲・態度】
- ② 作品と額が関連し合い総合的な美しさを持った表現の発想や構想を練ることができる。  
【発想や構想の能力】
- ③ 自分の表現意図に合う素材や道具を選び、制作の順序などを考えながら見通しを持って計画的・意図的に表現することができる。  
【創造的な技能】
- ④ 鑑賞を通じ、制作者の心情や意図を感じ取り、互いの良さや造形的な美しさなどを味わうことができる。  
【鑑賞の能力】



## 4 指導計画

### (1) 指導計画

指導過程 [時配]	学習内容と生徒の活動	支援及び留意点	評価
導入 (発想)  [第1時]	<p>「(副題)」の平面作品とそれを飾る額「私の思いを閉じ込める」の制作方法を理解する。</p> <p>「私の自我像」の制作 テーマは「私の行きたい場所」「私の生まれた月」「私の好きなもの」「私が頑張っていること」など。素材はコラージュ、絵の具による絵画表現、デザイン的な表現など各自のテーマに沿って各々に考える。</p> <p>「私の枠を閉じ込める」～My Frame～の制作 額の素材と制作方法を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 粘土を直接枠につける表現</li> <li>② 粘土を型紙に付けてから枠に貼る表現</li> <li>③ 粘土以外の素材を枠に直接付ける表現</li> <li>④ 粘土以外の素材を型紙に付けてから枠に付ける表現</li> <li>⑤ ①～④の制作方法の併用の表現</li> </ol> <p>・「自分を見つめるワークシート」を用いながら新たな自分を発見したり、自分をよく見つめ直してテーマを決定する。</p> <p>・作品の中と外との相互関係を生み出す発想構想を練る。</p> <p>・テーマから、主題を練る。</p> <p>・「私の思いを閉じ込める」構想シートにテーマと主題を記入させる。</p> <p>・「私の思いを閉じ込める」構想シートに「My Frame」のアイディアスケッチを行う。</p> <p>・A4の用紙に「私の自我像」のアイディアスケッチを行う。</p> <p>・「私の思いを閉じ込める」評価カードに、本時の授業の反省を記入し、次の時間の持ち物を把握させる。</p>	<p>「(副題) 私の自我像」の平面作品とそれを飾る額「私の思いを閉じ込める」の学習内容を参考作品をもとに提示する。</p> <p>・「私の自我像」の制作は、参考作品を提示し、自分のテーマと素材、思いを込めることを説明する。</p> <p>「私の枠を閉じ込める」～My Frame～の制作 の制作は、素材と制作方法について、①～④の方法に分類し、自分の制作方法についてどれに取り組むのか考えさせる。</p> <p>・「自分を見つめるワークシート」の説明と、ワークシートになるべく多くの項目が書け、発想の取りかかりになるように声かけを行う。(一斉授業)</p> <p>・「私の思いを閉じ込める」構想シートを記入させる。多くの案が思い浮かべられるように、用紙は沢山用いるように指導を行う。</p> <p>・次回の持ち物の確認を行い自分が必要とする資料は集めておくようにさせる。(個別指導)</p>	<p>(ア) -① (ア) -② (イ) -① (イ) -②</p>

<p>展開 1</p> <p>平面作品 の制作 「私の自 我像」</p> <p>[第2時 ～ 4時]</p>	<p>「(平面による自己表現) 私の自我像」の制作を行う。</p> <p>・描写やコラージュなど各々が選んだ表現方法により「私」を表現する。テーマは「将来の夢」「好きな格言」「憧れの人」「大切な物事」「自画像」「行きたい場所」「自分が輝く瞬間」などから各自の主題を決定する。</p> <p>・自分の主題をより生かせる用紙を選び、画面の構成を考えて制作を行う。</p>	<p>・自分の主題を大切にするように声をけを行う。</p> <p>・3時間の中で作品が仕上がるように計画的に制作を行うように支援を行う。</p> <p>・用紙(画用紙、色ラシヤ紙、ミューズさざなみ、彩雲紙、レザックなど)から主題を生かせる素材を用いるように支援を行う。</p> <p>(一斉指導)</p> <p>・構想シートを確認し、各自制作に進んでいるかどうかを確認する。アイデアが思い浮かんでいない生徒に支援を行う。</p> <p>・画面の構成を考えて制作を行えるように支援を行う。</p> <p>・用具を忘れていた生徒には貸し出す。(個別指導)</p>	<p>(ア) -① (ア) -② (イ) -① (イ) -② (イ) -③ (ウ) -① (ウ) -②</p>
<p>展開 2</p> <p>「My Frame」 額の制作</p> <p>[第5時 (本時) ～ 10時]</p>	<p>「私の自我像」を装丁する額「私の思いを閉じ込める～My Frame～」の制作を行う。</p> <p>・自分の表現意図に沿った素材を持参する。</p> <p>・額の素材と制作方法を理解する。</p> <p>① 粘土を直接枠につける表現</p> <p>② 粘土を型紙に付けてから枠に貼る表現</p> <p>③ 粘土以外の素材を枠に直接付ける表現</p> <p>④ 粘土以外の素材を型紙に付けてから枠に付ける表現</p> <p>⑤ ①～④の制作方法の併用の表現</p> <p>・自分の制作方法に必要な注意点を知る。</p> <p>① 接着方法</p> <p>② 道具の使い方</p> <p>・芯となる針金や厚紙を必要な形に切る。</p> <p>・厚紙や持ち寄った素材を枠に接着する。</p> <p>・厚紙に紙粘土を盛り、形を作る。</p>	<p>・素材と制作方法について①～⑤の方法を提示し、自分の制作方法がどれになるのかを考えさせる。</p> <p>・制作方法について①から④まで示し、希望を取り、人数を把握する。</p> <p>・素材の接着の方法を考えながら、のりしろが必要なことを提示する。</p> <p>・自分の表現方法が、枠の前の表現か、後ろからの表現かにより、粘土の付け方が異なることを提示する。それぞれの素材の接着方法を確認する。</p> <p>・道具の安全な使い方の説明を行う。(一斉指導)</p> <p>・各々の制作意図に応じて適した表現を行っているかどうか支援を行う。(個別指導)</p>	<p>(ア) -① (ア) -② (イ) -① (イ) -② (イ) -③ (ウ) -① (ウ) -②</p>

[第 11 時 ～ 12 時]	メタル箔を貼る。 ・仕上がり具合を考えてメタル箔を貼っていく。	・メタル箔の仕上がり具合、鏡面か、梨地仕上げかによる箔の切り方、貼り方を提示する。 (一斉指導) (個別指導)	(ウ) -① (ウ) -②
[第 13 時]	メタル箔を磨く。 ・古布に磨き粉を付けて表面を磨く。	・メタル箔の磨き加減を実演する。 (一斉指導) (個別指導)	(ウ) -① (ウ) -②
鑑賞 [第 14 時]	作品鑑賞を行う。 ・作品の意図、思いなど、一人一人発表を行う。	・友人の考えを否定したり人格を否定するようなことは言わないように指導を行う。 ・話をしている人に注意して耳を傾けるように指導を行う。 (一斉指導)	(エ) -① (エ) -②

## (2) 具体的評価目標

(ア) 美術への関心・意欲・態度	(イ) 発想や構想の能力	(ウ) 創造的な技能	(エ) 鑑賞の能力
① 作品と額との関連し合う美しさを探ろうとする。 ② 自分をよく見つけ、夢や思いを主体的に表現していこうとする。	① 自己をよく見つけ、自分の伝えたいことに適した表現で多くの発想を思い浮かべることが出来る。 ② 多くの発想の中から表現したい事を選び、表現意図を明確にしなが画面の構図を練ることができる。 ③ 自分の表現意図に合う素材や道具を選び表現の構想を練ることが出来る。	① 自己の表現意図に適した表現技法を選択し、創意工夫しながら表現することができる。 ② 表現意図に適した素材や生かし方を選択し、見通しを持ちながら表現することができる。	① 友人の作品を鑑賞し、その良さや美しさ、表現意図を感じ取ることができる。 ② 作品と額との調和の取れた美しさを感じ取ることができる。

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ① 「私の自我像」がより効果的になる額を表現する意欲を持つことができる。  
【美術への関心・意欲・態度】
- ② 「私の自我像」がより効果的になる額の制作に素材や用具を選び構想を練ることができる。  
【発想や構想の能力】
- ③ 「私の自我像」がより効果的になる制作方法を選択し、創意工夫しながら表現することができる。  
【創造的な技能】
- ④ 制作の順序を考えながら、見通しを持って表現することができる。  
【創造的な技能】

### (2) 本時の展開

指導過程 [時配]	学習内容と生徒の活動	指導上の留意点（指導形態）
事前準備 休み時間 2分前 着席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科委員による忘れ物点検を行う。</li> <li>・各自必要な素材を持ち、席に着く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な道具は机上に用意しておく。</li> <li>・掲示物の掲示、黒板の板書を行う。</li> </ul>
導入 [10分]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の説明を聞く。</li> <li>・自分の表現意図に沿った素材を持参する。</li> <li>・額の素材と制作方法を理解する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 粘土を直接枠につける表現</li> <li>② 粘土を型紙に付けてから枠に貼る表現</li> <li>③ 粘土以外の素材を枠に直接付ける表現</li> <li>④ 粘土以外の素材を型紙に付けてから枠に付ける表現</li> <li>⑤ ①～④の制作方法の併用の表現</li> </ol> </li> <li>・自分の制作方法に必要な注意点を知る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分の表現方法が枠の前の表現か、後ろからの表現かにより、粘土の付け方や芯の厚紙の形が異なることを知る。枠に直接粘土を盛りつける場合作品の中側に粘土が入りすぎないように、押さえの厚紙を貼る。</li> <li>② 接着方法（ボンドで接着する。ドリルで穴を開ける）糊代が必要な場合と必要出ない場合を知る。</li> <li>③ 道具の使い方、針金とペンチの正しい扱い方、紙粘土の使用上の注意を知る。</li> </ol> </li> <li>・芯となる針金や厚紙を必要な形に切る。</li> <li>・厚紙や持ち寄った素材を枠に接着する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の授業内容を振り返り、本時の授業内容を知らせる。</li> <li>素材と制作方法について、①～④の方法に分類し、自分の制作方法についてどれを取り組むのか確認させる。</li> <li>・制作方法について①から④まで示し、希望を取り、人数を把握する。</li> <li>・自分の表現方法が枠の前の表現か、後ろからの表現かにより、粘土の付け方や芯の厚紙の形が異なることを提示する。</li> <li>・粘土や厚紙が額の全面のみの表現か、後面からの表現かによる接着の違いを説明する。</li> <li>・素材の接着方法の確認と、素材の接着の方法によっては、のりしろが必要であることを提示する。</li> <li>・カッター、ハサミ、ペンチ、道具の安全な使い方の説明を行う。</li> <li>・紙粘土の取り扱いと保存方法の説明を行う。 (一斉指導)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の制作方法に沿った手順と接着方法を知る。</li> </ul>	
展開 【35分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の制作に用いる道具や紙を教卓から持って行く。</li> <li>・のりしろや貼り方などを工夫する。</li> <li>・芯となる厚紙や針金を必要な形に切り、部材をそろえる。</li> <li>・粘土を枠に盛りつける場合は、中側に粘土を盛りすぎて、作品が入らなくならないように、押さえの厚紙を枠にセロハンテープで接着する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の制作意図に応じて適した表現を行えるように支援を行う。</li> <li>・各々の表現方法が枠の前の表現か、後ろからの表現かを見て、芯の厚紙の形が正しく取れているかどうかを確認しながら支援を行う。</li> <li>・小さな部材や球状の素材の接着方法の確認をしていく。</li> <li>・部品の形がシャープになるように指導を行う。必要に応じて、定規や粘土ベラを用いることを促す。</li> <li>・道具の安全には注意を払い、机間指導を行う。(個別指導)</li> </ul>
まとめ 【5分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後片付けを行う。</li> <li>・授業評価シートの記入をし、本時の反省と次回の目標の記入を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後片付けの指示を行う。</li> <li>・授業評価シートを記入させる。</li> <li>・デザイン画の提出。</li> </ul>
授業後		作品、プリントの評価

### (3) 本時の評価

- ① 「私の自我像」がより効果的になる額を表現する意欲を持つことができる。【授業態度から】
- ② 「私の自我像」がより効果的になる額の制作に素材や用具を選び構想を練ることができる。  
【ワークシート、授業態度素材の収集状態から】
- ③ 「私の自我像」がより効果的になる制作方法を選択し、創意工夫しながら表現することができる。【授業態度から】

### (4) 資料、道具

教師が用意する物

- ・参考作品
- ・はさみ
- ・カッターナイフ
- ・カッティングシート
- ・ボンド
- ・瞬間接着剤
- ・のり
- ・針金
- ・ペンチ
- ・定規
- ・ボール紙
- ・工作用紙
- ・ビニール袋
- ・紙粘土
- ・粘土ヘラ
- ・セロハンテープ
- ・ドリル

生徒が用意するもの

- ・「自分を見つめるワークシート」
- ・「私の思いを閉じ込める」構想シート
- ・「授業の流れと評価カード」のプリント
- ・「私の自我像」の作品
- ・各々が必要とする素材